

(混合不活化ポリオワクチン開発メーカー4社宛て)

不活化ポリオ（急性灰白髄炎）ワクチンの開発の促進について
(依頼)

日頃から我が国の予防接種行政に対してご理解とご協力を頂き、誠に有り難うございます。

さて、ご承知のように、我が国では、昭和56年以降、野生株ポリオによる患者の発生が確認されておらず、WHO（世界保健機構）西太平洋地域において、平成12年に地域レベルのポリオの根絶宣言がなされております。

我が国では、現在も生ワクチンによるポリオの予防接種を行っており、極めてまれではありますが、接種を受けられた方にワクチンによる副反応としての麻痺症状やワクチンを接種された方から排出されたウイルスによって二次感染が引き起こされ、健康障害が発生することがあります。

これまでも審議会等の提言等において、生ワクチンから不活化ポリオワクチン（IPV）への迅速な切り替えの必要性が指摘されており、行政としても、ワクチン産業ビジョンにおける沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン（DPTワクチン）とIPVの混合ワクチン開発等に関する議論や、厚生労働科学研究費補助金による研究事業等によるIPVの品質に係わる生物学的製剤基準の作成のための基礎的研究の実施等の取組を行ってきたところです。

貴社におかれては、現在、DPTワクチンとIPVの混合ワクチンの開発を行っていること承知しておりますが、このような状況に鑑み、DPTワクチンとIPVの混合ワクチンの一日も早い薬事承認の取得及び供給に向け、より一層の開発促進のご努力をお願い申し上げます。

平成22年4月8日

厚生労働大臣政務官 足立 信也

厚生労働省健康局結核感染症課

照会先：江浪、坂本

(電話) 03-3595-2257

厚生労働省医薬食品局血液対策課

照会先：中島

(電話) 03-3595-2395